

基本施策2 地域資源の活用

施策4 地域人材が活躍できる場の充実

施策4 地域人材が活躍できる場の充実

方針

市民が学んできた知識や技能を生かすことができる場を充実させることにより、他の市民の学びのきっかけとなり、学びの輪が広がる循環型の生涯学習を推進します。

現状と課題

ボランティア活動等において学びを地域に生かす取組や、学びの成果を地域で生かす場が必要になっています。

市内では、様々な知識や技能をもった市民や、自分の力を地域で生かしたいと願う市民が、福祉を始め様々な分野でボランティアとして活動しています。市では、ボランティア活動時に役立つスキルや情報等を提供する講習会を開催するなど、ボランティアの育成とその活動を支援しています。

今後は、市民が社会を支えていることに実感をもてる「学びの循環」を確立し、更なる学びの創出や深化につながる仕組みづくりが求められます。

生涯学習の各分野では、文化や芸術などに関する知識や技能を提供できる人材に関する情報を「はむら人ネットガイド」に掲載し運用しています。

今後は、市民の学ぶ意欲を支え、学びを次につなぐ循環型生涯学習社会を構築するため、市民が学びたいことや、活動をサポートしてほしいことと、地域人材がつながることができる仕組みづくりが必要です。あわせて、市内企業がもつ資源を生かした学びの機会を創出する取組の充実も求められます。

学校教育の分野では、令和7年度から市内全ての小・中学校をコミュニティ・スクールとし、知識や技能を有する地域人材を発掘し活用するなど、特色ある教育活動を通じて学校・家庭・地域をつなぐ取組の充実を支援しています。

また、部活動に代わり中学生が放課後等にスポーツ、文化や芸術活動に親しみ、心身の健全な育成を図る持続可能な環境を整備するため、令和7年度から地域クラブ活動団体「TEAM はむら」の活動を支援しています。社会教育団体等からの協力を得て、子供たちが活躍し、生涯スポーツ・生涯学習へとつながる取組を充実していく必要があります。

【資料4】

基本施策2 地域資源の活用

施策4 地域人材が活躍できる場の充実

事業の方向性

○ボランティアに係る人材の育成と活動の支援

ボランティア活動への参加促進に向けた意識啓発、学びを循環させる人材育成、継続的な活動支援の充実を図ります。

○地域人材の発掘と活動の場の創出

活動を始めたくてもその第一歩が踏み出せない方や踏み出し方が分からない方、自分の知識や技能を地域で生かせることに気付いていない方など、地域の人材を発掘します。

また、多様な世代の地域人材が、それぞれの知識や技能を生かせる活動の場や市内企業がもつ資源を生かした学びの機会を創出するとともに、多様な世代の交流を推進します。

○学校・家庭・地域が連携した教育の推進（再掲：施策2）

学校を核として、地域全体で子供を見守り育てることを目的とした「コミュニティ・スクール」がより効果的かつ持続的に運営されるよう、多様な取組を支援し、学校と地域の連携・協働を促進します。

○部活動の地域展開「TEAM はむら」の推進

生徒の多様な活動機会を確保するため実施している部活動の地域展開について、地域の人材や組織などの地域資源を活用できるよう、部活動地域展開コーディネーターを配置する等、学校と地域が連携・協働する体制の更なる充実を図ります。